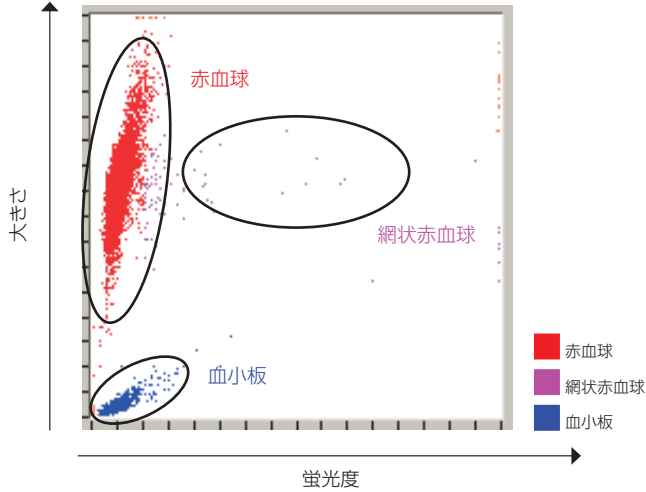
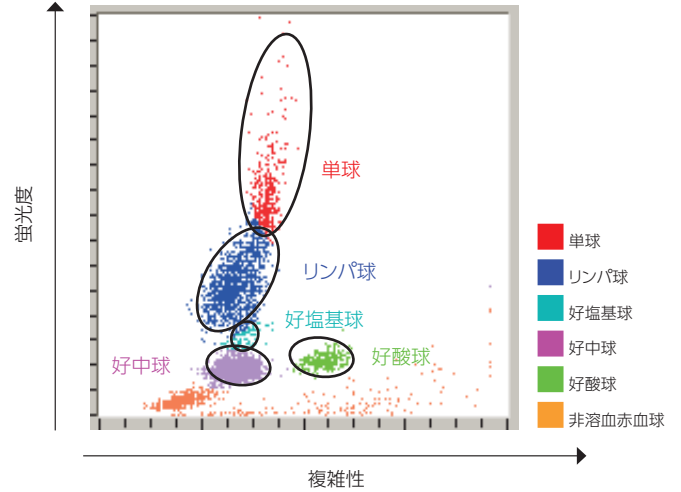




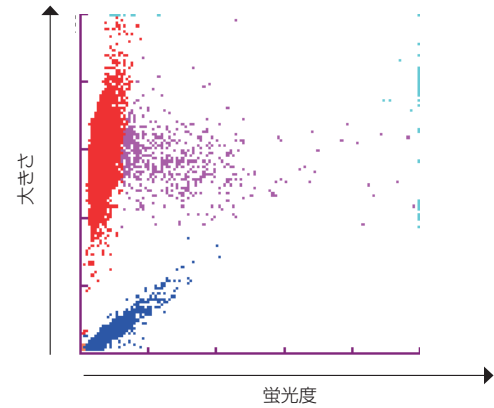
赤血球 正常分布



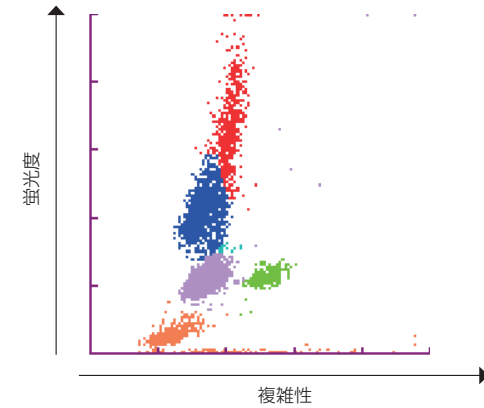
白血球 正常分布



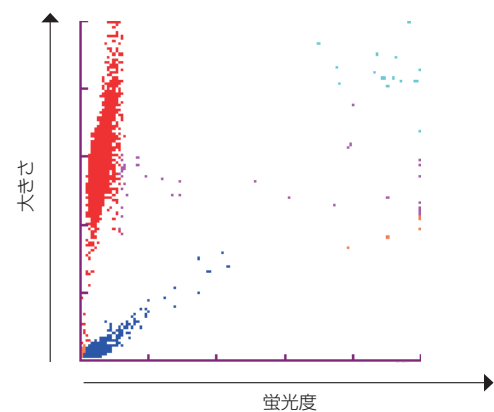
赤血球 網赤血球増加症



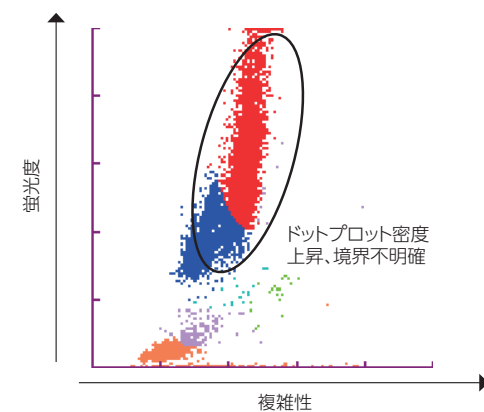
白血球 網赤血球増加症



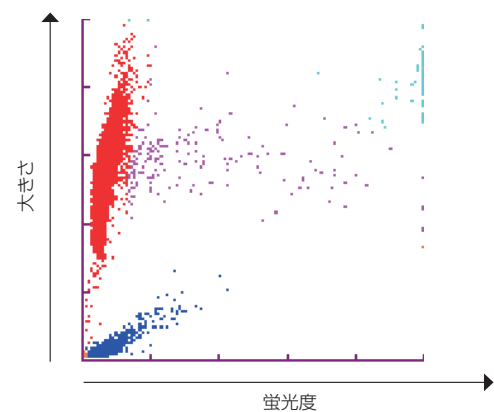
赤血球 リンパ性白血病



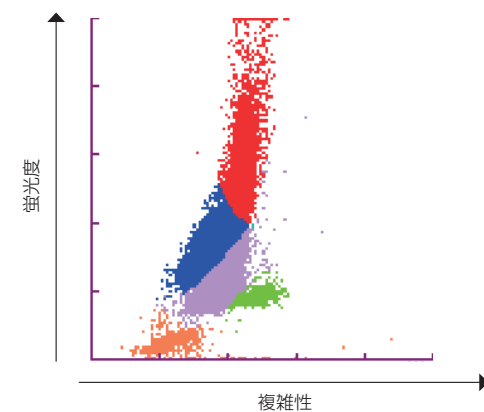
白血球 リンパ性白血病



赤血球 左方移動

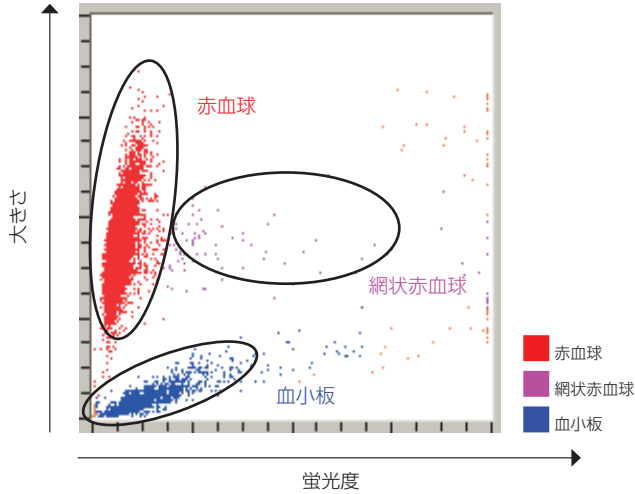


白血球 左方移動

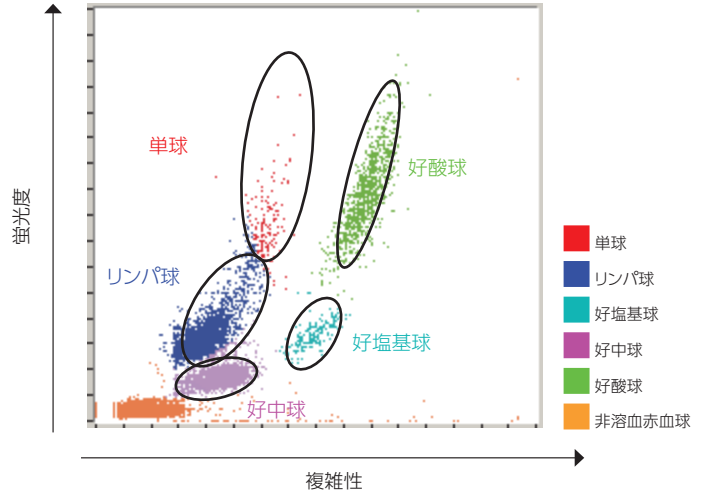




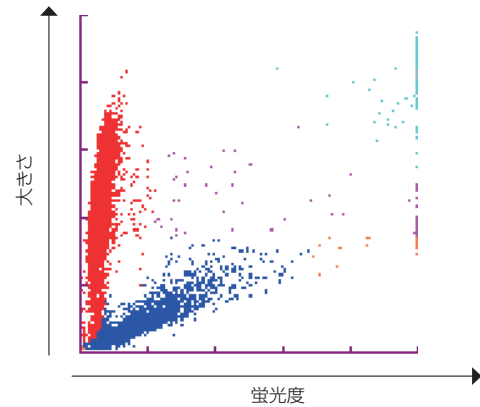
赤血球 正常分布



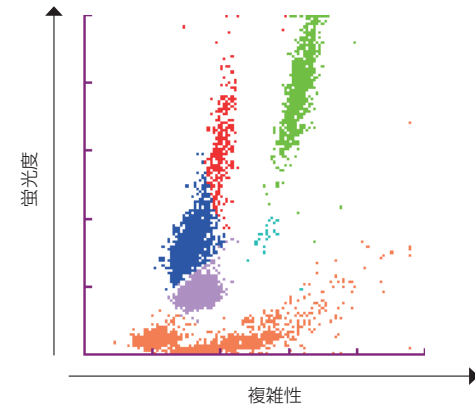
白血球 正常分布



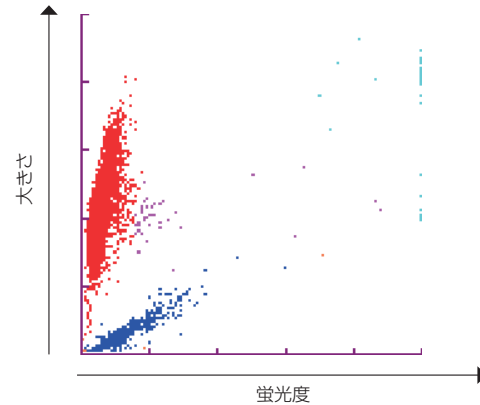
赤血球 血小板凝集



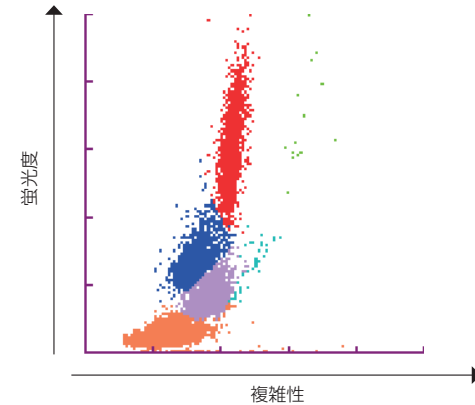
白血球 血小板凝集



赤血球 左方移動



白血球 左方移動



プロサイトDx™により示されるドットプロットの解釈には、まず正常プロットとの比較が必要となる。また、機械の特性を理解することにより、血球の形態学的な変化をある程度予想することも出来る。但し、今回紹介した症例と同様の疾患でも、類似のドットプロット像を必ず示すとは限らず、また、特に白血球系プロットでは、他の形態学的変化でも類似のドットプロット像を示すこともあるので、注意が必要である。そのため、プロット分布の異常が認められた場合には、血液塗抹の評価が必須となる。

— 小笠原聖悟先生 (IDEXX細胞診コントラクター、小笠原犬猫病院)

お問い合わせ先

アイデックス テクニカルサポート

TEL: 0120-71-4921

平日9:00-18:00(フリーダイヤル・自動音声案内)

土曜9:00-17:30